

～1学期が終わりました～



学校は夏休みに入りました。と同時に、梅雨も明け、日差しがじりじりと照りつけています。一気にがらんとした学校ですが、サッカー、バスケットボール、ネオホッケー等部活動に来る生徒もいます。暑さに負けず、体を動かし、汗を流しています。大きな声で「いいぞ!」「ナイス!」「ドンマイ!」と励まし声をかけあう姿、必死にボールを追うキラキラした瞳は素晴らしいですね。まさに青春!という感じです。

▲農園の作物もすくすく成長中

さて、この1学期は新型コロナウイルス感染症のしほりもなく(もちろん感染予防対策はとりながらでしたが)、様々なことが「復活」した3か月半でした。地域の方々や近隣の小中学校との交流、積極的に街に出た校外学習、県内外に足を伸ばし、直接体験を通して刺激を受けた修学旅行、一人一人が課題意識をもって一人で事業所や施設で取り組んだ現場実習等。無事にできて何よりでした。

ただし、これらは出かけることが目的なのではありません。行く前には行き先の情報、物や心の準備、取り組むに当たっての心構えなどを事前に丁寧に学習していきます。その中では、教科と関連付け、より実践的に学ぶ機会とします。また出かける前には大勢の前で説明したり、自分なりの目標を発表したりする場面もあります。そこでは発表する際の態度、声の出し方、相手にとって分かりやすい説明の工夫、つまりプレゼンテーション力なども必要です。実践を通して総合的に学んでいきます。事後もまた同様です。

大人もそうですが、簡単にできることばかりでは、人間あまり変化が望めません。少し負荷のあることや苦手な場面にも直面しますが、時には失敗しても何とか乗り越える経験が、私たちを強くします。児童生徒は一人一人ががんばるポイントは異なりますが、緊張を一つ一つ乗り越え、認められるたびに、安堵感や自信を表情や態度で表し、それが別の場面でも生かされ、たくましくなっていきます。そんな姿を見ると、もちろん安心・安全は大前提ですが、ここぞという時には、子どもを信じて背中を押すことも大事だとつくづく感じます。



▲リンゴもがんばっています。
暑さに負けるな!

1学期、いろいろなことに挑戦し続けた児童生徒の皆さんのがんばりに拍手を送ります。夏休みはゆっくり休み、そしていい汗をかき、家庭や地域ならではの体験を存分に生きてほしいと願っています。

R5.7.26

校長 近藤 千晴